

令和5年度(令和4年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

水道部下水道課

水道部長 大松季也

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
27-1	雨水整備事業	C	老朽化が進むポンプ場施設において、ストックマネジメント計画に沿って北浜田・若宮排水ポンプ場の改築・更新を実施し排水機能を確保することができた。 安全対策として、国は令和7年度までに「想定最大規模降雨の浸水シミュレーション」による浸水想定区域図を市民に周知するよう示してきており、更なる調査や台帳作成等の新たな事務が必要となる。	改善推進	老朽化が進んでいる排水ポンプ場については、引き続き施設の改築・更新、耐水化、耐震対策を進めていく。また、雨水管理方針において重点対策地区となった港、前潟、東成岩排水区については、早期の対策が重要であり、必要となる事業費を確保していく。
27-2	污水整備事業	C	接続率については、前年度比0.5%増の88.1%で目標値を下回ったが、浄化槽及び汲み取りからの切り替え件数は、前年度比29件増の116件となった。また、接続率向上の対策として、未接続世帯が多い自治区やこれまでの訪問の結果を基に928件を対象として戸別訪問を実施し、うち28件の接続を得ることができた。 老朽化対策としては、土地区画整理による污水管布設から40年以上経過した清城地区において、管渠の布設替を実施し、耐震化においては中央污水1号幹線のマンホール耐震化工事を6か所実施するなど、計画どおり実施することができた。 下水道使用料を改定する条例を制定し、令和5年度からの収益増に繋げている。引き続き、接続が可能な世帯に絞った効率的な戸別訪問を積極的に進めるなど、有収水量の増に努めること、令和8年度以降に予定している2回目の使用料改定により、下水道事業の完全な自立経営を目指していく。	改善推進	接続率の向上を図るため、職員による効率的な戸別訪問を実施し、訪問する世帯の絞り込みを行い、大口使用者や共同住宅の責任者と面談を重ねて確実に接続してもらえるよう取り組む。また、不明水対策に積極的に取り組むなど経営の改善につとめながら、審議会の意見も踏まえながら次回の使用料改定により下水道事業の完全な自立経営を目指す。
課等長	1次評価（令和4年度の総括評価）				
C	雨水整備事業において、特にポンプ場の3施設は築年数30年以上経過していることから老朽化が確実に進んでおり、多額な修繕費用を要する施設でもあるが、計画性を持って、場合によっては、前倒ししてでも整備を必要とする重要施設である。令和4年度は、普段の点検等を踏まえて事業実施をしてきたと評価できる。また、污水事業においては、下水道使用料の改定に踏み切り、当事業の自立経営に1歩近づいたと言えるが、接続率や不明水問題を着実に解消していくなど、下水道使用者が納得いく料金改定としなければならない。				
部等長	2次評価（令和4年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
C	雨水整備事業：老朽化が進む排水ポンプ場については、ストックマネジメント計画に基づいて改築・更新工事を計画的に進められている。今後も国費を含めた事業費の確保が重要となる。また、古くに整備された排水路など既存ストックの改良などを積極的に進めることも必要である。 污水整備事業：接続率の向上は、事業の目的、事業経営の改善のために重要である。積極的かつ継続的に接続依頼等を実施し、接続に繋げること。また、不明水についても新たな知見も含めて対策を実施し、軽減を図ること。これらを着実に進めながら、適正な使用料収入とするなど事業の安定運営に努める。				